

県P連だより

広島県PTA連合会

陽だまり

No.63

令和2年度全小・中学校PTA母親代表研修会

～今年度はWEBでの開催となりました～



スマートサプライビジョン
特別講師 佐藤 敏郎氏

初めてのウェブ開催となった今回の母親代表研修会は、「3.11を学びに変える」という演題で、元中学校教師の佐藤敏郎さんのお話を拝聴しました。約10年が経過して残念ながら少し忘れかけてしまっている東日本大震災の事を思い出し、かけがえのない命の大切さについて考える大変いい機会になりました。

あの日、各地の津波のテレビ映像を胸が締め付けられるような気持ちで観ていました。想像を絶する被害の中、ご自身は生き残り、また大切な娘さんを失った被災者でもある講師のお話は、当然つらい内容もありましたが、授業で子供たちが詠んだ俳句の内容の変化から、悲しい現実により言葉を失った子供たちが少しずつ前向きな気持ちになっていった過程がよくわかり、胸を打たれました。

広島県でも豪雨災害があり、この先もいつ災害が起きるかもしれません。子供たちの未来を守るために今後も私たちにできることをしっかり考えていきましょう。

～講師プロフィール～

1963年、宮城県石巻市生まれ。宮城教育大学卒業後、中学校の国語科教諭として宮城県内の中学校に勤務（2002年から3年間は女川町生涯学習課勤務）。2015年3月退職。

東日本大震災当時は、宮城県女川第一中学校（現在の女川中学校）に勤務。震災後の2011年5月、生徒たちの想いを五七五に込める俳句づくりの授業を行い、テレビ、新聞、書籍等で紹介される。2016年度の中学校1年生の教科書にも掲載されることになった。震災後は女川中学校、矢本第二中学校で防災担当主幹教諭、宮城県の防災教育副読本の編集委員も歴任。震災で当時大川小学校6年生の次女を亡くす。

～令和2年度全小・中学校PTA母親代表研修会 YouTube配信のため撮影を行いました～

コロナ禍での研修会開催について、6月の定例総会、全小・中学校会長研修会は中止となり、12月の研修会が開催できるのか、会場に入る人数を制限すれば開催可能なのか、それとも中止するのかなど、先の見えない状況でした。

しかし、こんな時だからこそ、PTAとして活動を止めるのではなく、発信していこうとの思いをみんなで共有することが出来ました。

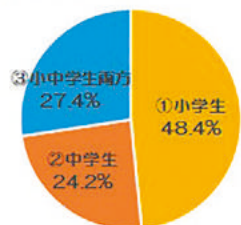
色々な方法を検討した結果、YouTubeで配信する方向で動き出すことができ、こちらの写真はWEB配信に向けての撮影風景です。

まだまだコロナの収束は見通せませんが、できることをコツコツと実践していきたいです。

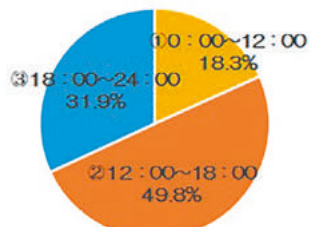


令和2年度 全小・中学校PTA母親代表研修会を、令和2年12月5日(土) 13:00～
12月7日(月) 17:00の日程でYouTube配信を行いました。
Googleフォームにてアンケートを実施し、258件の回答をいただきました。

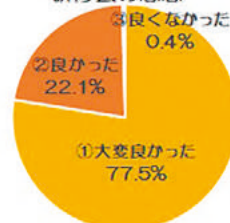
(1) お子さんについて



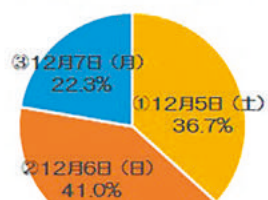
(3) 視聴された時間帯



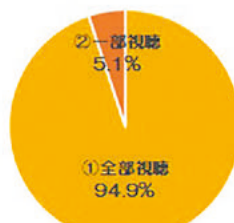
(5) WEB配信で開催した研修会の感想



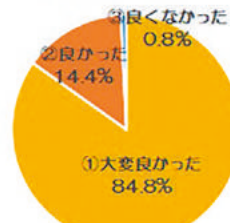
(2) 視聴された日にち



(4) 視聴された状況



(6) 講演の感想



限定公開や期間限定にせず、たくさんの方に
見てもらいたい内容でした。

「ただいま」「おかえり」が言えるまでが防災。
心に響きました。

東日本大震災から10年。何をすべきか判断して
行動することの大切さを痛感しました。

WEB配信は自分の都合の良い時間に視聴出来
て良かったです。

一時停止や巻き戻しが出来るので、聞き逃
したところを戻して聞けたのがよかった。

コロナ禍での研修会を開催“しない”ではなく
“するためには”を考え実施していただいたこ
とに感謝します。

今回学んだことを、自身のPTA活動にも
活かしたいです。

母親代表だけでなく、全会員に向けて公開を
検討して欲しいです。

広島県も豪雨災害を経験し、防災について改めて
家族や学校で話し合う必要を感じました。

講演会中、子供に留守番をさせることに矛盾を
感じていましたが、子供と過ごしながら視聴で
きて良かったです。

実践していかなければいけないことが、
たくさん見えてきました。

講演会大変良かったです！新たな形での講演
会にとても可能性を感じました！

今までのアンケートは、研修会が終わるまでに記入して回収でしたが、今回は自宅でゆっくり回答してもらうことが
でき、講演会の感想などたくさんいただくことができました。WEBでの研修会も好評で、これからも充実した研修
会となるよう工夫していききたいと思います。

広島県教育委員会との意見交換会を開催しました

昨年12月1日に広島YMCAにおいて、広島県PTA連合会と広島県教育委員会との意見交換会を開催しました。本会には広島県教育委員会から平川教育長をはじめ各課課長等が出席され、県P連からは山本会長ほか7名が参加しました。最初に山本会長から平川教育長に「意見交換項目」の一覧が手渡され、それに対して各課から回答をいただき協議するという形で進められました。

要望事項については、フリートークとして意見を交わしました。

I 意見交換された項目

- 1 いじめなどの問題行動について
 - (1) いじめなどの問題行動についての現状と課題
 - (2) ネットを介した「いじめの発生や子どもたちの安全を脅かす事態」の防止
- 2 ネットリテラシーの教育について

II 要望事項として提出した項目

- 1 働き方改革について
 - 業務改善の実施
- 2 人事異動方針について
 - 遠距離通勤の解消



山本会長(右)から平川教育長(左)へ意見交換項目一覧を手渡しました。

学校で実施されているネット活用の教育と情報モラル教育の現状や今後の展望、保護者の役割等について様々な意見を交換することができました。

また、いつもながら平川教育長の熱い思い、熱い語りを聞くことができ、広島県PTA連合会としても「子どもたちのために頑張ろう」というパワーをいただくことができました。

話し合いの中で改めて気づかされたのは、子どもの成長にとって家庭・学校・地域、そして行政（教育委員会）との連携がいかに重要であるかということでした。今後もこのような県教委との意見交換会を通じて、さらに連携を深め、素晴らしい広島っ子を育てていきたいものです。

＼ 楽しく作って！食べて元気に！ ／ ～食育のススメ③～



みなさんが「今までに食べた中で一番おいしかったもの」は何ですか。

私は小学校低学年の頃に生まれて初めて食べた「ウニ」です。母の実家は愛媛県の宇和海を望む人口300人にも満たない小さな集落にあるのですが、夏休みに親戚一同で集うことがありました。蝉が鳴き、太陽がジリジリ照りつける中、親戚みんなで磯遊びをした後、獲ったウニを炊きたてのごはんの上にのせてしょうゆをかけてワイワイ言いながら食べたあの味が今でも舌の記憶に強く残っています。

おいしさは様々な要因が関係することで成立している感覚です。要因の一つは食べ物（料理）です。特に旬の地場産物は、安価で手に入る上に、新鮮でおいしく、栄養たっぷりであると言われていきます。また、体調や環境も関係しています。親しい人と一緒に食べる料理は、いっそうおいしく感じ、一人で食べるのと、大人数で食べるのとでは、感じ方が違います。みなさんが一番おいしいと感じた時の状況はいかがでしょうか。

学校給食においては、栄養バランスのとれた食事の提供はもとより、子供たちの思い出に残るおいしい給食を提供するために、様々な工夫が行われています。その一つが地場産物の活用です。地場産物を取り入れた給食を「教材」として活用しながら、自分の住んでいる地域への愛着を育むとともに、食に関する感謝の念を育む教育活動が行われています。また、給食の時間において、栄養教諭が中心となって、食材の魅力を分かりやすくクイズ形式にして伝えるなど、楽しい食事環境の提供に向けた取組も行われています。

広島県には、豊かな自然によって育まれた野菜や果物、畜産物、魚介類など、魅力ある農林水産物がたくさんあります。ご家庭においても、旬の地場産物の「不思議な力」を借りながら、お子さんと一緒に明日への活力をチャージしてみませんか。

広島県教育委員会 豊かな心と身体育成課

楽しむ読書 役立つ読書



～私が本を読む理由～

みなさんが、もし自分のお子さんに「どうして本を読む必要があるの」と聞かれたら、何と答えるでしょうか。知識を得るため、物語を楽しむため、理由は様々あり、何かひとつ絶対的な正解があるわけではないと思います。

私が考える本を読む理由の一つとしては、「よりよく生きるため」というものがあります。「よりよく」と表現した理由は、別に本を読まなくても生きていく上では、何ら問題ないと思っているからです。睡眠や食事と比べれば、人間は読書をしなくても生きていくことができますし、私もこれまであまり読書はしなくても博識な人や豊かな感性を持った人にも出会ってきました。

ただ、私にとって読書は、自分の考え方や感じ方により深みを出すために必要不可欠なものでした。

例えば小説であれば、登場人物の感情を読み取りながら、自分だったらどのように考え、どのように行動するか想像することで、これまでの考え方や感じ方を見つめなおすことができます。また、自己啓発本などの新書では、著者の考え方や生き方を学ぶことができ、これまでの自分のやり方と比較しながら、それを自分の中に取り入れることができます。

このように、読書は知識を得られるだけでなく、感受性や思考力を育むことができます。この力があると、実生活の中で様々な体験をするときに、より印象に残ったり、いろいろの角度から物事を考えたりすることができ、体験をより深いものにすることができます。

以前のコラムでは大人になってからの読書ということで、様々な人生経験を積むことで、本に書かれている内容に「共感」しやすくなり、より読書を楽しむことができるという趣旨を書かせてもらいましたが、これはその逆もあてはまるということです。私たちの生活では、「経験」と「読書」はお互いを高め合う関係にあると思います。

無くても生きていけるけど、あったほうがより豊かに生きていくことができる。読書はある意味、文化や芸術と似た側面を持っているかもしれませんが。そのため読書は人に言われたからするものではなく、自発的に楽しむものであってほしいと思います。好きな映画を観る、あるいは好きな音楽を聴いてみるような気楽な感覚で、自分が「面白そうだ」と思った本を読んでみてはいかがでしょうか。

(広島県教育委員会生涯学習課 小笠原 拓也)

令和2年度 日本PTA年次表彰式

期 日 令和2年11月27日(金)

会 場 全社協 灘尾ホール(東京新霞が関ビル)

PTA活動にあたり、顕著な功績を挙げた、全国の団体及び個人を表彰する「令和2年度日本PTA年次表彰式」が東京灘尾ホールで開催されました。

今回は新型コロナウイルスの関係で、参加者を各団体1名に絞り、事務局などの参加も制限するなど、大きく規模を縮小して行われました。こんなところにも新型コロナウイルスの影響が影を落としています。

しかし、何れともあれ表彰された団体や個人の皆様、本当におめでとうございます。広島県関係の被表彰者・団体の名簿は次の通りです。



令和2年度 優良PTA文部科学大臣表彰

被表彰団体
呉市立和庄小学校PTA
福山市立南小学校PTA
東広島市立河内中学校PTA

令和2年度 公益社団法人日本PTA全国協議会 会長表彰(団体)

被表彰団体
廿日市市PTA連合会
安芸高田市立来原小学校PTA



第43回全国小・中学校PTA広報紙コンクール募集

日本PTA全国協議会傘下の公立小・中学校で発行するPTA広報紙作品を募集しています。

募集要項は所属の学校にお問い合わせください。

★令和2(2020)年4月から令和3(2021)年3月までに年1回以上発行(令和3年度募集より変更)

★全国の優秀作品に選ばれると、上記日本PTA年次表彰式にて表彰されます!



充実の補償で お子様を サポートします

●誤って他人のものを
壊したり、他人にケガを
させてしまったら…
(加害事故の補償)

インターンシップ(職場体験)
等に起因する法律上の賠償責任
も対象になります。

●授業中やクラブ活動な
ど、校内外を問わず発生
する急激かつ偶然な外来
の事故によるケガや病気*
の補償

*病気入院補償は
Hプラン・Wプラン
のみ対象です。



団体割引適用で 割安な保険料!

団体割引30%
損害率による割引35%適用
メディカルアシストでお子様の
健康相談を24時間受付

●学校管理下中の学用品・
身の回り品などの補償
●育英費用 等

充実の補償でお子様をサポートします。

広島県PTA連合会 小・中学生総合保障制度



小・中学生総合保障制度は団体総合生活保険のペトナムです。

この広告は「広島県PTA連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読み下さい。

詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がございましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。

この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

令和2年12月作成 募文No20-TC06267

パンフレット・重要事項説明書は左記
「お問合せ先」にご請求下さい。



引受幹事保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

お問合せ先・取扱代理店: (株)東京海上日動パートナーズ中国四国 TEL: 0120-018-217
保険会社: 東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島中央支社 TEL: 082-511-9194

共同引受保険会社

あいおいニッセイ同和損保

MSK AIO INSURANCE GROUP